

お年寄りを助けよう!!

岩室小学校 6年 竹内 竜一

ぼくは、お年寄りのことを助けることを考えました。なぜかというと、お年寄りの人たちは、体の動きがにぶくなり、いろいろなことをするのが大変になるからです。

ぼくは、3年生の頃おじいちゃん、おばあちゃんの体になる体験をしました。その時、動きにくいなあ、お年寄りには助けがいるなあと思いました。

そこで、七十五才からのお年寄りにお手伝いロボットを配って、体を大切に、いつまでも生きてくださいという願いを伝えたいです。新潟のお年寄りやデイサービスセンターの人に配りたいです。

いろいろなお仕事をしている人たちから意見を出してもらって、その意見をデータにかきこみたいです。ちょっと楽にするデータとか、いろいろ助けるデータとか入れたいです。できあがったロボットの実験をぼくのおじいちゃんやおばあちゃんにやってもらって、感想とか言ってもらって、ロボットを完成させたいです。

ぼくは、そのロボットに「お年うくん」と名前を付け、三千円くらいで配りたいです。

ほかにも体が不自由な人、耳や目の不自由な人、脳に障害のある人などかわいそうだと思います。

ぼくは、ロボットを開発して、お年寄りやいろんな人を助けたいと思います。